

栃木県那須郡那須町

校務 DX 計画

1. 校務 DX を推進する上での現状と課題

本町においては、すべての町立小・中学校で教職員が組織的な ICT 活用を実践できるよう、ICT 授業総合支援員の任用による各校巡回指導に加え、教育 ICT 支援業務委託（支援員 2 名および相談窓口の設置）による活用の支援体制を整えている。

また、ICT を活用した教員の業務負担軽減により、更なる教育の質の向上を目指すため、教育 DX 推進委員会を設置し、ICT および生成 AI を利活用した業務改善の取り組みを進め、オンラインで情報発信を行っている。

しかし、「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」による自己点検の結果、達成状況が 540 点満点中 310 点となっており、特にクラウドを活用したペーパーレス化の推進に課題がみられる。

2. 校務 DX を推進するための課題解決方針

(1) 校務系および学習系ネットワークの統合

現在、本町における教育ネットワークは、児童生徒の個人情報等を取り扱う「校務系」と児童生徒が教育活動で利用する「学習系」の 2 つに分離し、インターネット経由で児童生徒の個人情報にアクセスできない構成となっている。

教職員の働きやすさの向上と教育活動の高度化を目指し、ゼロトラストセキュリティの考え方にに基づき、アクセス制御によるセキュリティ対策を講じたうえで、校務系・学習系ネットワークの統合について、検討を進める。

(2) 校務支援システムの利活用

現在、本町においてはパッケージ型校務支援システムを導入せず、クラウド環境を利用した全校統一の校務支援システムを構築し、随時システムの拡張を行っている。

一方で、国においては、県域での統合型校務支援システムの共同調達について、令和 11 年度には次世代の校務システムを導入済の自治体の割合が 100%を目指す方針を示している。

今後も現行の校務支援システムの拡張を継続し、名簿情報の不必要な手入力作業の一層に取り組む等、利活用の向上を図るとともに、国および県の方針に従い、次世代型統合型校務支援システムの導入について、共同調達会議等での検討を進める。

(3) FAX および押印の見直し

教育委員会と各学校や事業者とのやり取りでは順次 FAX から電子メール等へ移行しているが、一部業務においては、FAX でやり取りされている業務がある。緊急連絡や FAX によることが効率的な場合を除き、原則 FAX でのやり取りの廃止に向け、検討を進める。

また、押印の見直しについては、令和２年度に行政部局と同時に進め、特に必要のあるものを除き押印を廃止しているが、継続的にその必要性等を考慮し、必要に応じた見直しを行うこととする。